

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670010Q1	科目番号 / Subject code	05670010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間の科学(教育相談)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	内野 成美		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	内野 成美		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	内野 成美		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	2年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soudan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後に講義室で受付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標 / Goal	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義・演習(個人及びグループ)		
授業内容 / Class outline / Con	第1回 教育相談の意義について学ぶ 第2回 教育相談と生徒指導の領域について学ぶ 第3回 カウンセリングの基本技法について学ぶ 第4回 カウンセリングの基本技法を体験する 第5回 児童生徒の問題行動等の現状についての理解 第6回 不登校児童生徒への理解について学ぶ 第7回 不登校児童生徒への対応について学ぶ 第8回 発達障害の児童生徒への理解について学ぶ 第9回 発達障害の児童生徒への対応について学ぶ 第10回 いじめ問題について学ぶ 第11回 いじめ問題を事例をもとに理解する 第12回 学級崩壊への理解と対応 第13回 危機介入について学ぶ 第14回 学級集団への援助の方法について学ぶ 第15回 学級集団への援助の方法を体験する 第16回 授業の総括(まとめ、試験を含む)		
キーワード / Key word	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書： 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験(40%) 授業ごとのレポート(45%) 授業への参加度・貢献度(15%) 合計60%以上を合格とする。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
学生へのメッセージ / Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670010Q2	科目番号 / Subject code	05670010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間の科学(教育相談)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷口 弘一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷口 弘一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷口 弘一		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	taniguti@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部本館215番研究室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	毎週金曜日 15:00 ~ 16:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	カウンセリングとソーシャルサポートを有機的に結びつけ、効果的な援助を提供する方法について理解すること。		
授業到達目標 / Goal	フォーマルなサポートであるカウンセリングとインフォーマルなサポートであるソーシャルサポートについて説明できる(, , , , , ,)。学校・家庭場面において、効果的な援助が提供できるようになる(, , , , ,)。		
授業方法(学習指導法) / Method	主として、講義形式(視聴覚教材、心理尺度等の実習教材、プリントを適宜使用)で行う予定にしているが、心理アセスメントやグループワークなどを可能な限り多く取り入れ、アクティブラーニング形式となるようにしたいと考えている。		
授業内容 / Class outline / Con	授業内容(概要) 心理的な悩みや困難を抱えた人に対する援助には、カウンセラーなど専門家によるサポートと親密な他者など非専門家によるサポートの二つが存在する。本講義では、カウンセリングとソーシャルサポートの理論、学校・家庭場面におけるカウンセリングとサポートの実践、カウンセリングとサポートの効果を抑制する要因などについて解説する。		
キーワード / Key word	カウンセリング, 心理アセスメント, ソーシャルサポート, グループワーク		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	カウンセリングとソーシャルサポート - つながり支えあう心理学 - ナカニシヤ出版		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験50% 発表・討論・実習への貢献30% 課題レポート20% この他に、授業で募集する実験や調査などへの参加による学習、もしくはそれに替わる課題なども評価に加味する。 合格基準は全体評価の60%以上		
受講要件(履修条件) / Requirements	授業外学習(週平均約2時間)		
学生へのメッセージ / Message for students	可能な限りアクティブラーニング形式となるようにしたいと考えているので、学生諸君の積極的な授業参加を期待している。 予習・復習では、教科書はもとより、新聞、インターネット、専門書、学術論文など多くの情報源に当たって、講義内容に関する理解をさらに深めてほしい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	カウンセリングとは何か: 定義・歴史・効用		
第3回	カウンセリングとパーソナリティ		
第4回	カウンセリングの理論と技法(1): クライアント中心療法		
第5回	カウンセリングの理論と技法(2): 行動療法		
第6回	カウンセリングの理論と技法(3): 認知行動療法		
第7回	カウンセリングの理論と技法(4): 精神分析療法		
第8回	カウンセリングと心理アセスメント(1): 知能検査		

第9回	カウンセリングと心理アセスメント(2)：性格検査
第10回	カウンセリングと心理アセスメント(3)：職業適性検査
第11回	カウンセリングとサポート活動
第12回	ソーシャルサポートとは何か：理論的導入
第13回	ソーシャルサポートと発達
第14回	学校・家庭場面におけるカウンセリングとソーシャルサポート
第15回	カウンセリングとソーシャルサポートの抑制要因
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670010Q3	科目番号 / Subject code	05670010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間の科学(人間関係の社会学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中島 ゆり		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中島 ゆり		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中島 ゆり, 川越 明日香		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生(クラス等) / Object Student	多文化社会、教育、経済、薬、水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakajimayuri@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部新館2階(254-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2908		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:30 ~ 15:00 (その他の日時はemailにてアポイントをとること。)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>私たちは生まれてから死ぬまで、直接的にせよ、間接的にせよ、必ず誰かとの関係の中で生きている。「誰か」には、親、親戚、友人、恋人・パートナー、そして、全くの赤の他人も含まれる。これらの人間関係は、実は、文化、社会階層、ジェンダーによって異なるように形作られて可能性があるが、普段、私たちはそれに気づくことは少なく、さも当たり前のように自らの人間関係が他人のそれと同じだと思い込み、他者と比較し、場合によっては他者を羨んだり、逆に非難したりする。</p> <p>この授業では、人間関係にまつわる専門的知識を身に付けると同時に、その「眼鏡」を用いて自らの経験を振り返り、分析する練習をすることで、今後の人間関係の構築に役立つであろう「ものの見方」を身に付ける。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>(カッコ内は、対応する全学モジュール目標の番号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が人に及ぼす影響について社会学の用語を用いて説明することができる(、、、) ・自分が経験してきた人間関係の影響について、客観的に分析することができる(、、、) ・他者との考え方の違いが生まれる背景や要因について推察することができる(、、、) ・人間関係に関する諸問題について自分の考えを述べる(、、、) ・他者の多様な価値観について受容的に関わることができる(、、、) 		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>第2回から第11回までは2回を1セットとし5つのテーマをとりあげる。各セットの1回目は専門的知識を学んで、それをもとに自分の経験を振り返り、2回目はその自分の経験の分析をグループで共有し、ディスカッションを行う。そして、そのディスカッションをもとに、再度、自分の経験を振り返る。</p> <p>第12~15回はこれらのディスカッションを深め、グループでプレゼンテーションを行う。最後に授業全体を振り返り、レポートを提出する。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>第1回は、本科目で扱う内容や学習方法、評価の仕方などについて説明します。本科目の課題で求められるレポートの書き方についても説明しますので、必ず出席してください。</p> <p>第2~11回は、人が子どもから大人へと成長するまでに経験する様々な人間関係について、社会学の考え方に基づいた形で学びを深めていきます。</p> <p>第12~15回では学んできた内容について振り返り、プレゼンテーションを行います。</p>		
キーワード/Key word	社会化、ジェンダー、学校文化、階層、再生産、家族、キャリア形成		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>指定の教科書はありません。授業時に用いる教材は随時配布します。</p> <p>また、主な参考書は以下の通りです。</p> <p>ピエール・ブルデュー1991 『再生産』藤原書店 アンソニー・ギデンズ1995 『親密性の変容 近代社会におけるセクシュアリティ、愛情、エロティシズム』而立書房 アーヴィング・ゴッフマン1980 『集まりの構造 新しい日常行動論を求めて』誠信書房 石黒格、李永俊、杉浦裕晃、山口恵子2012 『「東京」に出る若者たち 仕事・社会関係・地域間格差』ミネルヴァ書房 ナン・リン2008 『ソーシャル・キャピタル 社会構造と行為の理論』ミネルヴァ書房 恒吉僚子1992 『人間形成の日米比較 かくれたカリキュラム』中央公論社(中公新書1065) 上野千鶴子1994 『近代家族の成立と終焉』岩波書店 ポール・ウィリス1996 『ハマータウンの野郎ども』筑摩書店(ちくま学芸文庫)</p>		

成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>授業への参加と活動40% 授業外課題の提出30% 最終レポート30% (各課題・テストの配点及び評価方法については授業内で説明します) これらの総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。</p>
受講要件(履修条件)/Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・資料はすべてLACSにアップしますので、事前にダウンロードしたりプリントアウトしたりして来てください。 ・授業中に課題を行ったりLACSを通して提出してもらったりしますので、PCを必ず持ってきてください。 ・授業中の私語は厳禁です。 ・事前・事後学習を必ず行ってください。 ・グループ・ディスカッションとグループ・プレゼンテーションには積極的に望んでください。
学生へのメッセージ/Message for students	<p>本科目では自分の経験や社会的な問題について客観的に捉えなおす視点を培い、考える力をつけていくことをねらいとしています。人間関係や社会的な問題について考えてみたい人の受講を歓迎します。</p>
授業計画詳細	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	社会化と親子関係(1)
第3回	社会化と親子関係(2)
第4回	友人関係・生徒文化(1)
第5回	友人関係・生徒文化(2)
第6回	知らない人とのかかわり(1)
第7回	知らない人とのかかわり(2)
第8回	家族・恋愛・セクシュアリティ(1)
第9回	家族・恋愛・セクシュアリティ(2)
第10回	人間関係とキャリア形成(1)
第11回	人間関係とキャリア形成(2)
第12回	グループ・プレゼンテーション(1)
第13回	グループ・プレゼンテーション(2)
第14回	グループ・プレゼンテーション(3)
第15回	グループ・プレゼンテーション(4)
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670010Q4	科目番号 / Subject code	05670010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間の科学(ライフサイクルとメンタルヘルス)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小澤 寛樹		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小澤 寛樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小澤 寛樹, 今村 明, 木下 裕久, 黒滝 直弘		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部, 環境科学部		
担当教員研究室/Laboratory	医学部 精神神経科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7293		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月水木 12-13時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	自分を取り巻くライフサイクルとメンタルヘルスの実状をまできちんと把握し、受講者がこれからの経済活動や現代の市民としての生活などで役に立つ知識を習得してもらうことを目標としたい。		
授業到達目標/Goal	毎回のテーマは生活の中で起きうる具体的な問題であり、心理学・精神医学(必要であれば、人文科学・社会科学の知識)を通して、自分の確に把握できるようになる。そして得られた知識を、まだ知らない人に対しても正しくプレゼンテーション可能なようになることを通じて、社会に貢献できる“新しい人。”(大江健三郎)になるためのメンタル・リテラシーを身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義プレゼンテーション資料の配布、必要に応じて映像資料をもとに展開する。各回終了ごとに、講義内容に基づく出題課題への議論をもとにレポートを提出してもらい、自己の意見を練り上げる過程で理解を深める。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	精神医学、精神疾患、メンタルヘルス、アンチスティグマ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「シネマサイキアトリー～映画からみる精神医学～」(小澤寛樹監訳、中外医学社) 「標準精神医学・第5版」(野村総一郎他編、医学書院)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義後に提出するレポート: 50% 講義中のディスカッションへの参加態度(意欲点): 50%		
受講要件(履修条件) / Requirements	本シラバスは今後変更される可能性があるため、受講予定者は履修登録時に再度本シラバスの内容を確認し、受講の有無を決定すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	自分には関係ないと思いがちな心の病気……。実は誰にでもなりうる可能性がある、身近なものなのです。 この授業では、そんな心の病気に触れた映画を視聴し、メンタルヘルスについて学んでいきます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	「生きにくいと感じるあなたへ～コミュニケーションとは何か～」		
第2回	「統合失調症の実際」		
第3回	「人が死を選ぶ時～尊厳死を考える～」		
第4回	「誰かが君に恋してる～恋愛現象の脳科学～」		
第5回	「私は男、それとも女?～ジェンダーを捉える視覚～」		
第6回	「小さい時に受けた心の傷の話～PTSDを癒すために～」		
第7回	「上手なお酒との付き合い方～依存症って怖い～」		
第8回	「私達の持つ記憶の本体とは何なのか?」		
第9回	「子どもが普通とは違う苦悩～発達障害について～」		
第10回	「抑うつとは何か?～気分障害について～」		
第11回	「親がボケた時、あなたはどうしますか?～認知症の基礎知識～」		
第12回	「知性とは何か?～ヒトの知性の発達と精神疾患との関係～」		
第13回	「自己チューな人たち～人格障害を考える～」		
第14回	「アップダウンの激しい人たち～双極性障害の話～」		
第15回	「まとめ」		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670010Q5	科目番号 / Subject code	05670010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間の科学(仕事と健康)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楠葉 洋子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楠葉 洋子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楠葉 洋子, 中根 秀之, 黒田 裕美		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kusubay@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医学部保健学科2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-7936		
担当教員オフィスアワー / Office hours	適宜(事前にメール等で連絡をすること)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	仕事は人間に報酬や達成感などの喜びをもたらすが健康問題にも関連している。雇用・労働環境を知り、メンタルヘルスの危機や生活習慣病などの仕事に関わる健康問題について理解する。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. 壮年期の特徴について述べるができる。 2. 仕事をするこの意味について考えることができる。 3. 雇用環境・労働環境について述べるができる。 4. 仕事と生活習慣病の因果関係について述べるができる。 5. 病気をもちながら仕事を継続している人々のセルフマネジメントについて述べるができる。 6. メンタルヘルスのあり方について考えることができる。 7. 働く人々の健康の実態を知り、仕事を継続する上での望ましい健康術について考えることができる。 		
授業方法(学習指導法) / Method	講義、演習(個人学習、グループ学習)、学習内容の発表、討論などをまじえながら学習を進める。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	仕事、壮年期、労働環境、生活習慣病、メンタルヘルス、セルフマネジメント、労働衛生		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	配布資料、参考書等については適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業への貢献度、レポート課題等を基に総合的に評価する。評価方法の詳細は授業ガイダンスで説明する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	まだ、賃金発生する仕事に就いた経験がない人が多いと思います。新聞やテレビ、インターネットなどで、仕事と健康に関係ある記事をチェックしたり、周囲で仕事をしている人たちの話を聞いたりすることが、授業の理解を深めるために有用です。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業ガイダンス、労働人口の特徴(楠葉)		
第2回	仕事を持ち働くことの意味を考える(楠葉)		
第3回	雇用環境・労働環境の実態(1): 労働生活と健康の概略(楠葉)		
第4回	雇用環境・労働環境の実態(2): 健康障害要因(楠葉)		
第5回	雇用環境・労働環境の実態(3): 課題発表: 業種別作業別健康問題(楠葉)		
第6回	仕事と生活習慣病: 糖尿病(黒田)		
第7回	仕事と生活習慣病: 虚血性心疾患(黒田)		
第8回	仕事と腰痛、VDT作業と健康(黒田)		
第9回	病気をもちながら仕事を継続するためのセルフマネジメント(楠葉)		
第10回	仕事とメンタルヘルス(1): (中根)		
第11回	仕事とメンタルヘルス(2): (中根)		
第12回	働く人々の健康の実態と労働衛生(1): サラリーマンの健康の実態(楠葉)		

第13回	働く人々の健康の実態と労働衛生(2)：健診データを基に健康について考える(楠葉)
第14回	働く人々の健康の実態と労働衛生(3)：(ゲストスピーカー：長岡清子)企業における健康管理、“ものづくり”における健康管理
第15回	働く人々の健康術：サラリーマンの健康術について考える(楠葉)
第16回	まとめ：課題学習；最終レポート課題の提出

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670010Q6	科目番号 / Subject code	05670010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間の科学(教育相談)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田山 淳		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田山 淳		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田山 淳, BERNICK PETER JOHN, 西郷 達雄, 小川 さやか		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育B棟34		
対象学生(クラス等) / Object Student	2年生		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標 / Goal	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義形式(一部実習形式)		
授業内容 / Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の歴史と意義 2. 学校における教育相談体制と相談の進め方 3. 児童・生徒の発達に応じた教育相談 4. 児童・生徒が抱える心の問題の種類 5. 心の問題を明らかにする方法(1) 6. 心の問題を明らかにする方法(2) 7. 来談者中心カウンセリングについて(1) 8. 来談者中心カウンセリングについて(2) 9. 行動療法・行動カウンセリングについて(1) 10. 行動療法・行動カウンセリングについて(2) 11. グループエンカウンターについて 12. 心理教育について 13. 保護者への教育相談 14. 各種関係機関との連携 15. 総括 16. テスト 		
キーワード / Key word	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p><教科書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <p><参考書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくわかる教育相談 - やわらかアカデミズム・わかるシリーズ - : 春日井 敏之 (編集), 伊藤美奈子 (編集), ミネルヴァ書房, 2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談 - 教師教育テキストシリーズ - : 広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際 よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門 - こころの科学叢書 - : 高野久美子、日本評論社、2012 		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ol style="list-style-type: none"> 1) 試験の結果30% 2) レポート・提出物40% 3) 出席および授業態度30% 		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670010Q7	科目番号 / Subject code	05670010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間の科学(教育相談)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田山 淳		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田山 淳		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田山 淳, BERNICK PETER JOHN, 西郷 達雄, 小川 さやか		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟34		
対象学生(クラス等) / Object Student	2年生		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標 / Goal	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義形式(一部実習形式)		
授業内容 / Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の歴史と意義 2. 学校における教育相談体制と相談の進め方 3. 児童・生徒の発達に応じた教育相談 4. 児童・生徒が抱える心の問題の種類 5. 心の問題を明らかにする方法(1) 6. 心の問題を明らかにする方法(2) 7. 来談者中心カウンセリングについて(1) 8. 来談者中心カウンセリングについて(2) 9. 行動療法・行動カウンセリングについて(1) 10. 行動療法・行動カウンセリングについて(2) 11. グループエンカウンターについて 12. 心理教育について 13. 保護者への教育相談 14. 各種関係機関との連携 15. 総括 16. テスト 		
キーワード / Key word	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p><教科書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <p><参考書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくわかる教育相談 - やわらかアカデミズム・わかるシリーズ - : 春日井 敏之 (編集), 伊藤美奈子 (編集), ミネルヴァ書房, 2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談 - 教師教育テキストシリーズ - : 広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際 よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門 - こころの科学叢書 - : 高野久美子、日本評論社、2012 		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ol style="list-style-type: none"> 1) 試験の結果30% 2) レポート・提出物40% 3) 出席および授業態度30% 		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670030Q1	科目番号 / Subject code	05670030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の機能(免疫と病気)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	由井 克之		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	由井 克之		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	由井 克之, 本間 季里, 阿比留 教生, 一瀬 邦弘		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育, 経済, 水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	katsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医歯薬学総合研究科・感染免疫学講座・免疫機能制御学分野		
担当教員TEL / Tel	819-7070		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12-13時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	社会人として生活していく上で必要な医学的な知識を身につけること。特に感染から体を守る免疫系と、その異常による病的側面を中心に体の不思議な仕組みについて学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	感染等異物から体を守る免疫系の基本的な仕組みについて説明できる。 免疫系の異常による病気について、その種類と原因の概要を説明できる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義形式を主体とする。適宜課題を出し、またグループ毎の学生発表会等を開催して学生の授業への積極的な参加を促す。 身近な問題から始めて、免疫学の基本が理解できるように進める。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	抗体、白血球、感染		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	小安重夫著「免疫学はやっぱりおもしろい」羊土社2008年		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	筆記試験(60%)。 授業中に行う課題レポート及び小テスト(40%)。		
受講要件(履修条件) / Requirements	先進医学と現在社会モジュールIに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	導入、 伝染病と二度なし(担当: 由井)		
第2回	二度なしの原理(担当: 由井)		
第3回	抗体(担当: 由井)		
第4回	グループ発表会(担当: 由井)		
第5回	アレルギーI(担当: 本間)		
第6回	アレルギーII: プレゼンテーションと質問(担当: 本間)		
第7回	ガンI(担当: 本間)		
第8回	ガンII: プレゼンテーションと質問(担当: 本間)		
第9回	免疫不全症I(担当: 本間)		
第10回	免疫不全症II: プレゼンテーションと質問(担当: 本間)		
第11回	免疫が自分を攻撃する病気とは?(担当: 一瀬)		
第12回	生活習慣病ではない糖尿病、免疫で起こる糖尿病とは?(担当: 阿比留)		
第13回	免疫病にはどのような治療法があるのか?(担当: 一瀬・岩本)		
第14回	免疫と神経・筋疾患(担当: 阿比留・中嶋)		
第15回	総まとめ(担当: 由井)		
第16回	予備		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670030Q2	科目番号 / Subject code	05670030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の機能(エイズと性感染症)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西田 教行		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西田 教行		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西田 教行, 佐藤 克也, 新 竜一郎		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	経済学部など		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribaci@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	医学部感染分子解析学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7059		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜午後4時半		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	AIDSという社会問題について考えることを通して、正確な情報の収集、分析、問題発見、問題解決思考を身につける		
授業到達目標/Goal	ウイルスとはなにか述べることができる。 HIVとはどんな特徴を有するウイルスか、述べることができる。 日本、および世界のエイズの現状について、情報に基づいて記述できる 人類のエイズとの戦いの今後の課題について自分の考えを述べることができる		
授業方法(学習指導法)/Method	グループワークを中心に。プレゼン資料作成、レポート作成などを指導する。		
授業内容/Class outline/Con	HIV感染が起こすAIDSについて、世界の現状、日本での問題点、などを学ぶ。グループワークを中心にアクティブラーニングを実践する。		
キーワード/Key word	AIDS, HIV		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席およびレポートにて総合評価予定		
受講要件(履修条件)/Requirements	なし		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/mmi/cmb/		
学生へのメッセージ/Message for students	エイズを始め重要な感染症について学ぶ意欲のある人に受講してほしい。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション : HIVウイルスについて		
第2回	グループ討論(1)		
第3回	グループ討論(2)		
第4回	グループ発表(1)		
第5回	グループ発表(2)		
第6回	レポート作成指導(1)		
第7回	レポート作成指導(2)		
第8回	レポート作成指導(3)		
第9回	個別発表と討論(1)		
第10回	個別発表と討論(2)		
第11回	個別発表と討論(3)		
第12回	個別発表と討論(4)		
第13回	レポート作成指導(4)		
第14回	レポート作成指導(5)		
第15回	レポート作成指導(6)		
第16回	レポート返却 総括講義		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670030Q3	科目番号 / Subject code	05670030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の機能(薬との賢い付き合い方)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西田 孝洋		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西田 孝洋		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西田 孝洋, 麓 伸太郎, 宮元 敬天		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育B棟34		
対象学生(クラス等) / Object Student	特になし		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	koyo-n@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	歯学部7階 薬剤学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2566		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火・金曜日 16:00-18:00 (LACSで予定を確認すること)、メールでも対応		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	薬の消費者として薬と賢く付き合うためには、薬に関する理解を深めることが必要である。本講義では、薬が効くしくみと薬の体内における動き(体内動態)の基礎を理解し、代表的な疾患に対する薬物治療と薬の影の部分(副作用など)について学ぶことをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	薬に関する正しい知識を理解し、説明できるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	教科書や参考書の内容に沿って講義する。通常は、PowerPointを用いたプレゼンテーション形式で授業を進めるが、ビデオ等も用いて理解を深める。		
授業内容/Class outline/Con	薬が効くしくみや薬の体内での動きの基礎を理解し、また、薬の影の部分(副作用)を知る事は、一消費者としても、薬と賢くつきあうためばかりではなく、生体の機能を知り、生命現象の理解を深める事にもつながる。ここでは、精神に作用する薬も含め、幾つかの薬を例に取り、演習等も交えて、薬との賢く付き合うための生命科学を学ぶ。		
キーワード/Key word	薬の効果、薬の動き、副作用、生体の機能、病気、生活習慣病薬、麻薬、向精神薬		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: くすりの作用と効くしくみ事典(永岡書店) 参考書: 図解雑学 薬のしくみ(ナツメ社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	考査(30%)、レポート(30%)、授業に対する積極的な取り組み状況(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし。		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/indexj.html		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書や参考書を熟読すること。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	からだのしくみ: マクロからミクロへ		
第3回	薬が効くしくみ: 酵素と受容体、作用薬と拮抗薬		
第4回	薬物の消化管からの吸収: 消化管の機能、膜透過		
第5回	薬物の消化管以外からの吸収: クスリの投与部位、各種機能性製剤		
第6回	薬物の体内分布: 血液循環、血液成分、タンパク結合		
第7回	薬物代謝: 肝臓の機能、酵素反応、アルコールの代謝		
第8回	薬物の排泄: 腎臓の機能、尿・胆汁の生成、半減期		
第9回	薬の宅配便: 製剤学・DDS (Drug Delivery System, 薬物送達システム) 入門		
第10回	病と薬(1): 感染症と免疫システム		
第11回	病と薬(2): 生活習慣病		
第12回	病と薬(3): 癌と疼痛コントロール		
第13回	病と薬(4): こころの病		
第14回	薬の影: 副作用、薬物相互作用、薬害		
第15回	薬との賢い付き合い方: 総論・薬物治療の未来像		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670030Q4	科目番号 / Subject code	05670030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の機能(自然の中の薬と毒)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 隆		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 隆		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 隆, 松尾 洋介, 齋藤 義紀		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育 B 棟34		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-tanaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	薬学部3階天然物化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2432		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問などはメールで受け付け。面談の場合もメールで日時を調整。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	植物や微生物など自然界の生物は、さまざまな目的で多種多様な化学物質を作り、人間はそれらを薬、食品、染料などとして利用してきた。一方で、中毒や刑事事件など社会をさわがせる物質もある。この科目では、実験や観察を交えながら、生物が作る物質の性質、生理作用、存在意義、利用法、社会的意義などについて学び考察する。		
授業到達目標/Goal	動植物が作る薬、毒、食品、染料、化粧品などがどのように発見され開発され利用されているかを理解し、その恩恵、弊害、リスクについて議論できるようになることを目指す。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業は、液晶プロジェクター、板書、プリント等により行う。また、Webでの調査とそれをもとにしたグループディスカッションとプレゼンを行う。植物観察や小実験をすることもある。LACSを活用した演習なども行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	有機化学、天然物化学、成分分析、動物、植物、微生物、進化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書: スパイス、爆薬、医薬品・世界史を変えた17の化学物質、P.ルクーター他著、中央公論新社; 殺人・呪術・医薬、毒と薬の文化史 ジョン・マン著、東京化学同人; 毒と薬のひみつ、齋藤勝裕著、ソフトバンククリエイティブ、毒物雑学辞典、大木幸介著、講談社ブルーバックス、他		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への出席、授業中の課題への積極的な取組態度(60%)、演習(40%)、レポートまたはLACSによる演習を含む)。		
受講要件(履修条件)/Requirements	15回のうち、6回以上の欠席は失格とする。		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp		
学生へのメッセージ/Message for students	積極的に課題に取り組み、グループ内でのコミュニケーションをとること。調査し予備知識をつけてから授業に臨み、自分の意見を述べるができるようになること。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	導入講義: 動植物由来の薬や食品などについて、恩恵とリスクの例示。課題提示とグループ分け。		
第2回	からだの中の化学物質と薬・毒・食品		
第3回	薬と毒のリスクに関するSGD(1) テーマ設定, 問題点抽出		
第4回	薬と毒のリスクに関するSGD(2) 調査経過報告と討議		
第5回	薬と毒のリスクに関するSGD(3) 調査経過報告と討議		
第6回	プレゼンテーションと評価		
第7回	フィードバック・薬と毒の線引き, 毒への自己耐性		
第8回	植物観察・Webによる情報収集について・調査テーマ確認		
第9回	植物に含まれている化学物質を見る方法(小実験)とグループ討議		
第10回	社会で話題になっている自然食品などの調査(1) 調査結果のとりまとめと問題点の抽出		
第11回	社会で話題になっている自然食品などの調査(2) 中間プレゼンと評価・討論		
第12回	社会で話題になっている自然食品などの調査(3) 調査結果のとりまとめ		

第13回	社会で話題になっている自然食品などの調査（４）調査結果のとりまとめとプレゼンテーションの準備
第14回	プレゼンテーションと評価
第15回	フィードバック .
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670030Q5	科目番号 / Subject code	05670030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の機能(きずなの脳科学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有賀 純		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	有賀 純		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	有賀 純, 篠原 一之, 土居 裕和, 木原 敏晴		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aruga@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	大学院医歯薬学総合研究科 医科薬理学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7043		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水 16:30 ~ 17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヒトに限らず多くの動物では社会行動が見られる。脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学ぶ。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳科学と社会性行動の成り立ちについて、意欲的に学習に取り組むことができること(学ぶ力)。 2. 講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることができること(考える力)。 3. グループワークに積極的に参加することができること(関わる力)。 4. 講義中での議論の場あるいはプレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言することができること(表現する力)。 		
授業方法(学習指導法)/Method	PCプロジェクトを利用したスライド講義の他、講義内容に関連する課題、実習等を行う(グループワーク含む)。		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス：学習目標と方法 2. 神経科学の基礎 3. 哺乳類脳の構造と機能 4. 感覚系の成り立ち 5. 運動系の成り立ち 6. 脳と行動 7. 脳と社会性行動 8. 脳と言語 9. 性と脳 10. インターセックス(半陰陽)の科学 11. 脳科学・行動実験体験(1) 12. 脳科学・行動実験体験(2) 13. グループ学習(1) 14. グループ学習(2) 15. グループ学習成果発表・全体討論 		
キーワード/Key word	脳、性分化、母性、フェロモン		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経科学ー脳の探求ー ベアー他(著) 西村出版 2. 神経科学テキスト 脳と行動 カールソン(著) 丸善 3. 性同一性障害の基礎と臨床 山内俊雄(編著) 新興医学出版社 4. 人にフェロモンはあるのだろうか? -ヒトケミカルコミュニケーションの生理学(香り選書16) 柏柳誠(著) フレグランスジャーナル社 5. The Mommy Brain: How Motherhood Makes Us Smarter Katherine Ellison(著) Basic Books; New 6. Milk (2008) Director: Gus Van Sant, Distributed by Focus Features. 		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席点(予習課題) 25 レポート 25 グループワーク 25 プレゼンテーション 25		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670030Q6	科目番号 / Subject code	05670030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の機能(食の科学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	齋藤 俊行		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	齋藤 俊行		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	齋藤 俊行, 宮崎 敏博, 久松 徳子, 北村 雅保		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	syto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	歯学部 口腔保健学		
担当教員TEL / Tel	095-819-7662		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日17-18時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	食えることは生きる事そのものである。その入り口である「口腔と歯」は生きる事の入りの入り口である。食に関連した人体の構造、機能とその異常を示す疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深める。		
授業到達目標 / Goal	食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について予防医学的な観点から説明できる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義、セミナー以外に、テーマを自分で考えあるいは与えられ、それについて調べてプレゼンテーションとディスカッションを行なう。受講人数によって方法は異なります。		
授業内容 / Class outline / Con	食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について、また栄養学、予防医学について。 1) 口腔咽頭の解剖学1~4(宮崎) 2) 口腔咽頭の機能1~4(久松) 3) 食と健康1~4(北村) 4) 口腔と肥満1~3(齋藤) 参考歯学部ホームページ 【口腔保健学: 齋藤, 北村】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_oh.html 【細胞生物学: 宮崎】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_cb.html 【特殊歯科総合治療部: 久松】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_gcsd.html		
キーワード / Key word	口腔、咽頭、摂食嚥下、食事、栄養、健康、肥満、ダイエット、生活習慣病、予防医学		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特にありませんが資料配布を行ないます。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	プレゼンテーションやレポートの提出および試験を考えてますが、受講者数によります。		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし。		
備考(URL) / Remarks(URL)	http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/index_j.html		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	宮崎敏博: 口腔咽頭の解剖学1 9/28 咀嚼と嚥下に関わる構造(講義)		
第2回	宮崎敏博: 口腔咽頭の解剖学2 10/5 消化管の構造(講義)		
第3回	宮崎敏博: 口腔咽頭の解剖学3 10/19 咀嚼と嚥下のしくみ(学生によるプレゼンテーション)		
第4回	宮崎敏博: 口腔咽頭の解剖学4 10/26 歯と唾液腺と舌の働き(学生によるプレゼンテーション)		
第5回	久松徳子: 口腔咽頭の機能1 11/2 嚥下って何?		
第6回	久松徳子: 口腔咽頭の機能2 11/9 嚥下が悪くなると何が問題?		

第7回	久松徳子：口腔咽頭の機能3 11/16 嚥下機能はどうしたら保てる？悪くなったらどうしたらいい？
第8回	久松徳子：口腔咽頭の機能4 11/30 嚥下食って何？
第9回	北村雅保：食と健康1 12/7 食品の機能性～一次機能（栄養）から三次機能（体調調節）まで
第10回	北村雅保：食と健康2 12/14 日本人の食事摂取基準と保健機能食品制度
第11回	北村雅保：食と健康3 12/21 特定保健用食品各論～むし歯と食品
第12回	北村雅保：食と健康4 1/4 特定保健用食品各論～おなかの調子を整える食品など
第13回	齋藤俊行：口腔と肥満1 1/18 口腔疾患（う蝕と歯周病）とその予防
第14回	齋藤俊行：口腔と肥満2 1/25 口腔と生活習慣病
第15回	齋藤俊行：口腔と肥満3 2/1 食と肥満
第16回	予備

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670030Q7	科目番号 / Subject code	05670030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の機能(暮らしと科学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	及川 大地		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	及川 大地		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	及川 大地		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	LACSメールを使用		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 食物学研究室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	適宜事前にアポイントを取る		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	私たちの「食生活」の事項を問題点も踏まえて科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。		
授業到達目標/Goal	自ら「食生活」に関する事項を科学的視点で捉える意識を身に付け、問題点を解決するための考え方やスキルを身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	本講義は一般的な講義と参加型・体験型学習を織り交ぜながら実施します。基本的には複数回の講義の後、暮らし(食生活)に関する科学的テーマについて各班で背景、事象、問題点を抽出しながら、課題解決を試み、Power Point にまとめ発表してもらいます。講義では質疑応答を多く用います。		
授業内容/Class outline/Con	全16回開講のうち、前半は4回の講義の後、2回の参加学習、2回の発表、1回試験を実施します。後半は、2回の講義の後、2回の参加学習、2回発表、1回試験を行います。ただし、受講人数によって発表日数を減らし、講義内容に変更する場合があります。		
キーワード/Key word	日常生活の食(食品・栄養・食品衛生)、食環境、健康		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	資料は、LACSに掲載したものを各自必ず印刷してきてください。LACS内の資料は紙媒体で配布しません。 追加資料は適宜配布します。 <参考書>(興味のある学生のみ下記を購入してみてください。) 講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「食品学」 辻英明・小西洋太郎 編 講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「基礎栄養学」 木戸康博・中坊幸弘 編 講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「食品衛生学」 増田邦義・植木幸英 編		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価方法 試験：40点 発表：40点 参加・体験学習・質疑応答の取り組み：20点 <要注意>16回開講で6回以上欠席した者は失格とする。 成績評価基準 「試験」「発表」および「参加・体験学習・質疑応答の取り組み」で評価し、合計が60点以上を合格とします。		

受講要件（履修条件）/Requirements	本内容に興味のある学生。 暮らしに潜む科学的事象を少しでも解明したい学生。 自ら考え、疑問を持ち、まとめ、発表する努力を行う学生。
学生へのメッセージ/Message for students	暮らしの中の食に関して、日ごろから興味を持ち、科学的に考える意識を持ってください。
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 暮らしの中の科学（食生活の科学）
第2回	食品の栄養素
第3回	エネルギーになる栄養素・塩分の摂取
第4回	バターの科学
第5回	前半 参加学習
第6回	前半 参加学習
第7回	前半 発表 1日目
第8回	前半 発表 2日目
第9回	前半 試験
第10回	食中毒
第11回	食品の保存法
第12回	後半 参加学習
第13回	後半 参加学習
第14回	後半 発表 1日目
第15回	後半 発表 2日目
第16回	後半 試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0, 0.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670050Q1	科目番号 / Subject code	05670050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生命の科学(話題の先進医学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	工藤 崇		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	工藤 崇		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	工藤 崇		
科目分類 / Class type	査定外, 人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tkudo123@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	原爆後障害医療研究所 原研放射		
担当教員TEL / Tel	095-819-7101		
担当教員オフィスアワー / Office hours	16:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	現代の医学としてどのようなものが行われているかを知るとともに、医学が工学、数学、理学などの他学問との密接な関係で成り立っていることを知り、応用発展を考える。なお、本授業でいう「先進医学」とは法的に定義された用語としての「先進医療」ではなく、進んだ医療・近代的な医療・医学という意味です。		
授業到達目標 / Goal	医療における医学・生物学とそれ以外の学問領域との関連を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	様々な医学の技術、診断、治療法を講義を通して知る。それとともに、それらの医療技術のためには医学・生物学以外にどのような領域の知識が必要とされるかを自習・発表・討論を通して考察する		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	近代医学、先進医療、医学、統計学、工学、数学		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は必要としない。適宜、プリント・資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	2/3以上の出席。グループ学習、発表、討論は全出席。レポートの提出を義務づける。		
受講要件(履修条件) / Requirements	原則として、全回出席。予習を十分に行い、討論の時間には積極的な発言が望まれる。		
学生へのメッセージ / Message for students	時々、新聞記事、ネットなどを用いて現代の医学についての予習を要求します。また、得られた知識を用いてどのような新たな先進医学が可能であるか、考え発表してもらいます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	診断学と放射線		
第3回	X線を用いた画像診断		
第4回	X線を用いない画像診断(MRI)		
第5回	放射性同位元素を用いた診断		
第6回	統計学と画像		
第7回	放射線と治療		
第8回	グループ学習：物理学と医療		
第9回	歯学・歯科理工学を学ぶ前に必要な知識		
第10回	歯学と材料工学		
第11回	感覚器先進医学を学ぶ前に必要な知識		
第12回	耳鼻科先進医学と工学		
第13回	眼科の先進医学と光学		
第14回	グループ学習：医学以外の学問を医学に応用するには		
第15回	グループ学習発表		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0, 0.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670050Q2	科目番号 / Subject code	05670050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生命の科学(伝承薬から最先端医薬品まで)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	畑山 範		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	畑山 範		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	畑山 範, 石原 淳		
科目分類 / Class type	査定外, 人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生(クラス等) / Object Student	2・3・4年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	畑山:susumi@nagasaki-u.ac.jp, 石原:jishi@		
担当教員研究室/Laboratory	薬学部 薬品製造化学研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2426		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 15:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	我々の身の回りにある医薬品は化学物質で構成されている。化学物質は原子から出来ており、医薬品の作用機構など生命現象の多くは化学の言葉で語る事が可能である。高校の受験科目としての化学ではなく、生きた化学を理解し、医薬品の化学を通して化学を面白く感じるようになることが授業の狙いである。		
授業到達目標/Goal	人類の病気との戦いの歴史は、医薬品創製の歴史でもある。経験的に見出された伝承薬、天然物から発見された医薬品、そしてコンピューターによってデザインされた医薬品など、様々な医薬品はどのようにして合成し供給されるのか。幾つかの医薬品を例にとり、化学が医薬品開発に果たしてきた役割を学ぶ。		
授業方法(学習指導法)/Method	医薬品をテーマにして化学の視点から調査研究を行う。各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画についてディスカッションし、その検討結果を発表する。各グループ別に、報告をパワーポイントを用いた発表形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポートを作成し、提出する。		
授業内容/Class outline/Con	抗生物質、抗ウイルス剤、ビタミン、その他の身の回りにある医薬品について、PBL方式で自ら学ぶ。 なお、第1回~5回は石原、第6回~10回は西丸、第11回~15回は畑山が担当する。第16回目にレポートを提出および総括を行う予定。		
キーワード/Key word	医薬品、化学合成、天然物		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業中に適宜指定する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	積極的授業参加態度(40%)、グループプレゼンテーションの発表内容および報告レポート(60%)		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	テーマの提示とグループ分け(1)		
第2回	グループ内での調査(1)		
第3回	進捗状況の報告と意見交換(1)		
第4回	グループ内での調査(1)		
第5回	グループプレゼンテーション、全体討論(1)		
第6回	テーマの提示とグループ分け(2)		
第7回	グループ内での調査(2)		
第8回	進捗状況の報告と意見交換(2)		
第9回	グループ内での調査(2)		
第10回	グループプレゼンテーション、全体討論(2)		
第11回	テーマの提示とグループ分け(3)		
第12回	グループ内での調査(3)		

第13回	進捗状況の報告と意見交換（3）
第14回	グループ内での調査（3）
第15回	グループプレゼンテーション、全体討論（3）
第16回	報告レポート提出、総括

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0, 0.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670050Q3	科目番号 / Subject code	05670050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生命の科学(疾病と薬物治療)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小林 信之		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小林 信之		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小林 信之, 北里 海雄		
科目分類 / Class type	査定外, 人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nobnob@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	薬学部 感染分子薬学		
担当教員TEL / Tel	095-819-2456		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8:30-9:00 20:00-21:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	モジュール I I		
授業到達目標 / Goal	積極的に薬や感染症に興味を持ち、正しい感染症に対する知識を持てる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義にを3回行う。その講義により疾病と薬物治療に関する基礎的な知識を学んだ後にグループ形式で課題を考え、その課題に関しての情報を収集し、まとめた結果をプレゼンして議論する。		
授業内容 / Class outline / Con	1回目: 総論 2回目: 感染症と治療薬 3回目: 薬の開発 4回目: グループによる課題提案 5回目: グループによる課題決定 6回目: 課題に関する情報収集 7回目: 課題に関する情報収集 8回目: 情報中間発表 I 9回目: 情報中間発表 I I 10回目: 情報収集 11回目: 情報収集 12回目: プレゼン資料(パワーポイント)作製 13回目: プレゼン資料(パワーポイント)作製 14回目: 最終プレゼン I 15回目: 最終プレゼン I I 16回目: 総括		
キーワード / Key word	薬 感染症 ウイルス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	なし		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	6割以上の出席 プレゼン資料 授業に対する積極性などを総合的に判断する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	なし		
学生へのメッセージ / Message for students	積極的に参加してください。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0, 0.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670050Q4	科目番号 / Subject code	05670050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生命の科学(スポーツ医学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	安武 亨		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	安武 亨		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	安武 亨, 篠崎 彰子, 鎌田 幸治, 宮本 力		
科目分類 / Class type	査定外, 人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	toru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医学部・先端医育支援センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-7987		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8:00-8:50 月、火、水		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	スポーツの側面より医学を学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	医学の側面よりスポーツの種々の事項を説明できる。 スポーツパフォーマンスを向上させることができる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義・グループワーク		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	スポーツ, 医学, 栄養, 外傷, トレーニング, 歯		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	1. スポーツ医学研修ハンドブック基礎科目 第2版 文光堂 2. スポーツ医学研修ハンドブック応用科目 第2版 文光堂		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト(20点)。授業への参加状況(50点)。グループ発表(30点)。		
受講要件(履修条件) / Requirements	積極的に授業に参加すること。時間外グループワークができること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	スポーツ栄養学(1)		
第3回	スポーツ栄養学(2)		
第4回	スポーツ栄養学(3)		
第5回	スポーツ外傷総論		
第6回	ストレッチ		
第7回	筋力トレーニング		
第8回	スポーツ外傷各論		
第9回	スポーツリハビリテーション		
第10回	歯とスポーツ		
第11回	メンタルトレーニング、小テスト		
第12回	グループワーク: スポーツ医学の興味と疑問		
第13回	グループワーク: スポーツ医学 わかっていること知らないこと		
第14回	グループワーク: スポーツ医学 わかっていないことを知るために		
第15回	全体討論		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0, 0.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670050Q5	科目番号 / Subject code	05670050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生命の科学(老いと健康)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井口 茂		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	井口 茂		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	井口 茂, 横尾 誠一, 田中 浩二		
科目分類 / Class type	査定外, 人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	選択 全学		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	井口 茂 / shigeru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科3階 井口教員室		
担当教員TEL / Tel	井口茂 095-819-7962		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 18:00 ~ 19:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高齢者の加齢に伴う身体・心理的变化、環境への適応能力など生理的及び社会的変化を学び、高齢者に対するケアのあり方について議論していく。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の変化を理解する。() ・高齢者の社会的背景を理解する。() ・高齢者に対する希有の現象を理解する。() 		
授業方法(学習指導法) / Method	PCプレゼンテーションを中心とした講義ならびに演習、ケアの現場見学、グループワーク、プレゼンテーション、討論を通じて自ら考え、行動する学習法を身につける。		
授業内容 / Class outline / Con	第1回 ガイダンス及び高齢者が抱える健康及び生活課題(井口) 第2回 知っておこう!介護保険(井口・横尾・田中) 第3回 介護予防とは(井口・横尾・田中) 第4回 高齢者支援 - 自助・互助・公助 - (井口・横尾・田中) 第5回 高齢者の特徴的な病気と看護(横尾・井口・田中) 第6回 高齢者の寝たきりと廃用症候群(横尾・井口・田中) 第7回 高齢者の緩和ケア(横尾・井口・田中) 第8回 高齢者と家族(横尾・井口・田中) 第9回 認知症とは(田中・井口・横尾) 第10回 認知を予防する(田中・井口・横尾) 第11回 認知症の方へのケアとリハビリテーション(田中・井口・横尾) 第12回 認知症の方を地域で支える(田中・井口・横尾) 第13回 見学オリエンテーション・準備(演習及びグループワーク) 第14回 見学日(演習及びグループワーク) 第15回 課題発表(グループワーク及びプレゼンテーション、討論) 第16回 定期試験		
キーワード / Key word	高齢者、健康、ケア、介護保険、住民活動		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書・教材・参考書: 特になし・必要に応じて資料を配付する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	試験(40%)、課題発表(30%)、レポート(20%)、授業参加度(10%)		
受講要件(履修条件) / Requirements	復習時間として週1時間以上を要する		
学生へのメッセージ / Message for students	高齢者の問題・課題は、介護問題だけでなく社会に関わる多くの要因が絡んでいます。自分が目指す分野における関係性について考えてみてください。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0, 0.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670050Q6	科目番号 / Subject code	05670050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生命の科学(先端医療・再生医療)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	朝比奈 泉		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	朝比奈 泉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	朝比奈 泉, 住田 吉慶		
科目分類 / Class type	査定外, 人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年2年3年4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	asahiana@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	顎・口腔再生外科学分野		
担当教員TEL / Tel	095-819-7701		
担当教員オフィスアワー / Office hours	17 ~ 19時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	再生医療の基礎となる生物の基本的構成・発生のしくみ、幹細胞について理解し実際に開発が進められている口腔領域の先端医療・再生医療に付いての知識を深める。		
授業到達目標 / Goal	生物の構造、発生の基本的知識を身につけ、幹細胞、再生医療について説明できる。		
授業方法(学習指導法) / Method	それぞれのテーマについて、パワーポイントを使った概論的講義をおこなった後、いくつかの小テーマについてグループ討論をおこない、発表する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	再生医療・幹細胞・組織工学・発生・成長因子		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書: 再生医療叢書 全8巻 日本再生医療学会監修 朝倉書店		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	最終レポート50点、グループ討議における発表50点、計100点満点で60点以上を合格とする。筆記試験は行わない。		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	グループ討議に入る前に、与えられたテーマに関する下調べを行う		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション: 授業の進め方、授業内容の概説、授業に対する準備法、成績評価法について説明する(担当; 朝比奈)		
第2回	生物の構造とでき方の仕組み(1回目; 講義): 細胞からなる生物の階層性、細胞の構造、遺伝子の構造と機能、生物の発生について(担当; 朝比奈)		
第3回	生物の構造とでき方の仕組み(2回目; グループ討議と発表)(担当; 朝比奈)		
第4回	組織工学とは何か(1回目; 講義); Tissue Engineering Triad、人工材料の性質と作り方について(担当; 住田)		
第5回	組織工学とは何か(2回目; グループ討議と発表)(担当; 住田)		
第6回	幹細胞の不思議(1回目; 講義): 幹細胞の種類、胎性幹細胞、性幹細胞、ips幹細胞、について(担当; 朝比奈)		
第7回	幹細胞の不思議(2回目; グループ討議と発表)(担当; 朝比奈)		
第8回	唾液腺の再生医療(1回目; 講義): 唾液腺の構造、機能、発生、疾患、再生法について(担当; 住田)		
第9回	唾液腺の再生医療(2回目; グループ討議と発表)(担当; 住田)		
第10回	骨組織の再生医療(1回目; 講義): 骨組織の構造、機能、発生、再生法について(担当; 住田)		
第11回	骨組織の再生医療(2回目; グループ討議と発表)(担当; 住田)		
第12回	粘膜・皮膚の再生医療(1回目; 講義): 粘膜・皮膚の構造、機能発生、疾患、再生法について(担当; 住田)		
第13回	粘膜・皮膚の再生医療(2回目; グループ討議と発表)(担当; 住田)		
第14回	歯の再生医療(1回目; 講義): 歯の構造と機能、発生、再生法とデンタルインプラントについて(担当; 朝比奈)		

第15回	歯の再生医療（2回目；グループ討議と発表）（担当；朝比奈）
第16回	総合討論

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/19		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0, 0.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670050Q7	科目番号 / Subject code	05670050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生命の科学(医療現場の安全と安心)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林田 秀明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	林田 秀明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	林田 秀明, 安田 二郎, 濱野 真二郎, 松本 武浩		
科目分類 / Class type	査定外, 人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生(クラス等) / Object Student	2年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hide@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	総合歯科診療部		
担当教員TEL / Tel	095-819-7757		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日16:30 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	国内・外での病原性感染症発祥の歴史や国際伝播、情報共有について理解を深め、認識するとともに、国際人として国際社会で活躍するために、自ら医療の安全、安心の意識を育てる。		
授業到達目標 / Goal	国内・外で注目されている感染症および生体防御の基礎について理解する。 医療現場における安全と安心について理解する。 歯科医療における安全と安心について理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的に講義形式とする。 内容により参加型の討論形式などを行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	医療現場・感染症・国際伝播・情報共有		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントの配布とスライドによる講義なので教科書・教材・参考書等特になし		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テストまたはレポートによる評価で計100点満点中60点以上の者を合格とする		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用である。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	新興感染症出現の背景と致死性の高いウイルス性出血熱に関する基礎知識 (安田)		
第2回	テレビや映画の中の感染症: 正しく伝えられているか? (安田)		
第3回	病気を起こす原虫とは? (安田)		
第4回	世界的に重大な感染症マラリアに関する基礎知識 (安田)		
第5回	ネグレクテッド・トロピカル・ディジーズ(顧みられない熱帯病): 「死なないからと放っておかれてはたまらない」1 (濱野)		
第6回	ネグレクテッド・トロピカル・ディジーズ(顧みられない熱帯病): 「死なないからと放っておかれてはたまらない」2 (濱野)		
第7回	細菌の感染の仕組み (濱野)		
第8回	地球規模のピロリ菌感染 (濱野)		
第9回	「防御は最大の攻撃?—ヒトの免疫の話」どうやってヒトはバイキンを追い払ったり負けたりするのか? (濱野)		
第10回	「防御は最大の攻撃?—ヒトの免疫の話」どうやってヒトはバイキンを追い払ったり負けたりするのか? (安田)		
第11回	医療機関における安全管理 (松本)		
第12回	医療連携における安全・安心 (松本)		
第13回	診療録管理を通じた安全・安心の医療の提供 (松本)		
第14回	歯科における標準予防策 (林田)		

第15回	歯科治療における偶発症とその防止策（林田）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670070Q1	科目番号 / Subject code	05670070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間と環境(感染症と文明)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山本 太郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山本 太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山本 太郎, 和田 崇之		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	多文化、教育、経済、水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-taro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	熱帯医学研究所206号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7869		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 16:00 - 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	大きく病気を適応不応から理解する		
授業到達目標/Goal	自分で考え、発表できるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義 + 集団学習 + プレゼン		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『感染症と文明』(岩波新書) 『新型インフルエンザ』(岩波新書) 『エイズの起源』(みすず書房)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	グループ発表		
備考(URL) / Remarks(URL)	http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/newrect/		
学生へのメッセージ/Message for students	積極的な授業への参加を期待しています。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	ドイツ医学の導入、制度設計、コレラ、急性感染症、海港検疫と長崎		
第3回	産業化進展にともなう疾病構造の変化、慢性感染症、結核、女工		
第4回	戦後復興とGHQによる制度改変、アメリカの影響、マラリア、彦根		
第5回	生物学基礎。細菌とウイルスなど、生物分類		
第6回	生物学基礎。生物の構成因子の理解が病原体への認識を変えたことについて		
第7回	ダーウィニズム、ラマルキズム、中立説。生物の進化と病原性について		
第8回	ペスト、梅毒など、感染症が歴史を変えた事例について		
第9回	隔離対策、抗生物質の発見、疫学研究など		
第10回	現代社会での新興感染症、インフルエンザ、HIVなど		
第11回	個々の研究事例の紹介		
第12回	個々の研究事例の紹介		
第13回	休講		
第14回	テーマ発表		
第15回	テーマ発表		
第16回	テーマ発表		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670070Q2	科目番号 / Subject code	05670070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間と環境(環境と社会運動)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清, 保坂 稔		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育、経済、薬学、水産、1 - 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp hosaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部4階環404戸田教員室、環427保坂教員室		
担当教員TEL/Tel	戸田095-619-2726 保坂095-819-2728		
担当教員オフィスアワー/Office hours	戸田金曜16-17時 保坂木曜9時30分-10時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。全学モジュール科目「人間と環境」の選択科目。		
授業到達目標/Goal	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる。企業、行政、専門家、市民の役割や対立点を説明できる。		
授業方法(学習指導法)/Method	教科書、プリント、映像などを用いて授業を行う。口頭や質問感想用紙での積極的な質問や発言を期待したい。		
授業内容/Class outline/Con	前半の7回(保坂)は環境問題の分析について環境社会学的な見方を深める。後半の7回(戸田)は具体的な事例を通じて環境社会学を学ぶ。15回目はまとめ。16回目は定期試験。		
キーワード/Key word	公共圏、リスク社会、社会的ジレンマ、オルタナティブ運動、水俣病、カネミ油症、原発事故、受益圏と受苦圏		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は保坂稔『緑の党政権の誕生』(晃洋書房2013年)。参考書は適宜紹介する。プリント配布、映像の視聴を行う。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験80%、レポート20%		
受講要件(履修条件)/Requirements	受講要件は特になし。		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書を通読すること。講義内容を図書館利用やインターネットで深めてほしい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	社会運動分析 環境社会学への誘い		
第2回	社会運動論 緑の党		
第3回	エコファシズム		
第4回	宗教への視点		
第5回	環境運動と地域 フレーム分析		
第6回	公共圏		
第7回	環境運動と政治意識		
第8回	水俣病 公害の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか		
第9回	水俣病その2		
第10回	カネミ油症 40年かかってわずかな前進		
第11回	原発事故と原発被曝労働		
第12回	ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊		
第13回	農薬問題 特にネオニコチノイド		
第14回	遺伝子組み換え作物		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670070Q3	科目番号 / Subject code	05670070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間と環境(環境問題の歴史から学ぶ)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	保坂 稔		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	保坂 稔		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	保坂 稔, 宮西 隆幸, 太田 貴大, 関 陽子		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保坂稔		
担当教員TEL/Tel	819-2728		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日9:30~10:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	一般に環境問題は80年代以降世界的に知られるようになったと言われているが、それ以前にも大規模な自然破壊や、これにともなう生体の健康に与える深刻な影響が報告されている。この講義ではそれらの事例を踏まえながら、環境保護を訴える立場を模索することとする。		
授業到達目標/Goal	80年代以前の環境問題の歴史について説明できる能力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式でおこなう。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	環境破壊、環境響因子、公害		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。資料は必要に応じて配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各講義ごとのレポートによる評価		
学生へのメッセージ/Message for students	地球環境問題以外にも環境問題があることを意識して、授業に臨んでください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション(80年代以前の環境問題の歴史)		
第2回	絶滅危惧種の問題: 密猟、違法輸出入、乱獲		
第3回	森林伐採の問題		
第4回	水環境汚染の問題: 農薬、富栄養化、工業排水、産廃		
第5回	大気汚染の問題: オゾン層破壊、排ガス、工場		
第6回	生体に与える環境響因子について		
第7回	大気と温度と水の問題		
第8回	無機イオンと内分泌攪乱物質について		
第9回	環境的因子における生物学的インパクト		
第10回	生態に与える環境響因子の具体例		
第11回	環境破壊の論理 人間にとって自然とは何か		
第12回	高度経済成長期 近代システムと人間の生活		
第13回	捕鯨問題を考える(1) 文化と自然		
第14回	捕鯨問題を考える(2) いのちの意味		
第15回	公害の構造 "弱者"からの環境問題		
第16回	レポート作成と評価		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670070Q4	科目番号 / Subject code	05670070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間と環境(障害体験と支援)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	東 登志夫		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	東 登志夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	東 登志夫, 杉山 和一, 中尾 理恵子, 川崎 涼子		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	2年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	higashi-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科5t階		
担当教員TEL / Tel	095-849-7994		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 9:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	各種障害の疑似体験等を通して障害を理解し、その支援の必要性を体感するとともに、具体的な支援の方法について学ぶ。なかでも長崎市特有の斜面地の移動障害に焦点を当てて、その支援策について討議する。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な障害を挙げるができる ・障害を持った方が抱えている生活障害を理解する ・長崎の斜面地における移動障害を理解する ・障害者を支援する各種制度の概要を理解する。 ・斜面地における移動障害を支援する具体的方法について学ぶ 		
授業方法(学習指導法) / Method	高齢者疑似体験セット, 片麻痺体験セット。車いす, アイマスク等を使用して、実際の障害を体験する演習や、長崎市の斜面地とその移動支援の方法を実際に視察する。さらに、実際に障害を持った方の体験を聞くことにより、障害に対する理解を深め、その支援方法について討議する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	障害, 高齢者, 支援, 斜面		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	配付資料		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	プレゼンテーションでの発表内容(20%), 各体験終了後のレポート(80%)にて総合的に評価。		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	本講義では、高齢者, 視覚障害, 片麻痺及び体車椅子の体験等を実際に体験し、障害を持つ方々への支援のあり方を一緒に考えます。興味がある方, 是非受講してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション, グループ分け		
第2回	各種障害の理解 東		
第3回	障害体験(片麻痺, 車いす, 視覚障害) 東		
第4回	障害体験(片麻痺, 車いす, 視覚障害) 東		
第5回	障害体験(片麻痺, 車いす, 視覚障害) 東		
第6回	グループ討議 東		
第7回	グループ討議 発表 東		
第8回	斜面地探索(フィールドワーク)		
第9回	斜面地探索(フィールドワーク)		
第10回	長崎市の斜面市街地の現状と課題 杉山		
第11回	保健師による訪問指導について		
第12回	保健師による相談業務について		
第13回	高齢者・各種障害者を支援のあり方 中尾		
第14回	高齢者・各種障害者を支援のあり方 中尾		

第15回	全体のまとめ 東
第16回	授業を振り返ってのグループ討議

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670070Q5	科目番号 / Subject code	05670070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間と環境(公害環境問題と社会)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学、歯学、工学、環境 1 - 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4 - 5時。在室ならいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	安全で安心できる環境を享受するため、公害・環境問題の歴史と現状、またそれらを考察する理論を学ぶ。全学モジュール科目「人間と環境」の選択科目。		
授業到達目標/Goal	代表的な公害・環境問題の概要を説明し、企業、行政、専門家、被害者と一般市民の役割、対立点、キーワードなどを説明できる。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に映像をまじえた講義方式で行うが、口頭や毎回の質問感想用紙による質疑応答を取り入れて理解度を探りながら進める。必要に応じてプリントを配布し、OHPなどを利用して理解を助ける。		
授業内容/Class outline/Con	具体的な事例を通じて、公害・環境問題への多面的・学際的なアプローチを学ぶ。15回目はまとめ、16回目は定期試験。とりあげる事例は、予定を変更したり、順番を入れ替えたりすることもある。		
キーワード/Key word	水俣病、カネミ油症、原発、リスク社会、受益圏と受苦圏、住民運動と市民運動		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年。参考書は適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験70%、レポート30%		
受講要件(履修条件)/Requirements	受講要件は特になし。		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書を通読すること。環境科学部の環境社会学と一部重複するが、両方受講しても得るところは多い。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	水俣病 なぜ半世紀も混乱が続くのか		
第3回	水俣病その2		
第4回	カネミ油症 40年かかってわずかな前進<ゲスト: 下田順子>		
第5回	カネミ油症その2		
第6回	リニア中央新幹線のメリットとデメリット		
第7回	福島原発事故と甲状腺がん		
第8回	放射線被ばく労働		
第9回	10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物		
第10回	農薬問題 特にネオニコチノイド		
第11回	遺伝子組み換え作物		
第12回	石木ダム計画をめぐる紛争		
第13回	ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊		
第14回	自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ		
第15回	まとめ		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670090Q1	科目番号 / Subject code	05670090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の構造(幹細胞と再生医療)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	李 桃生		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	李 桃生		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	李 桃生, 田口 潤, 堺 裕輔, 小野 悠介		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生(クラス等) / Object Student	1-4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	litaoshe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	原爆後障害研究所 幹細胞生物学部門		
担当教員TEL / Tel	095-819-7099		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8:00am-5:00pm		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	幹細胞と再生医療は医学と生命科学領域に非常に注目されている最先端の課題であるが、不明な点も多く存在する。生命、健康、医療、倫理、医療ビジネスなど様々な角度から、このは話題性の富む課題に直面している問題点を提起し、物事に関する分析、考え、解釈など基本的な能力を養う。		
授業到達目標 / Goal	最先端の幹細胞と再生医療に関する基礎知識、研究応用の現状と問題点を伝授しながら、基本的な考えと解釈の力を養う。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義形式で行いますが、幹細胞と再生医療に関する専門知識の伝授よりも一般的な問題について質疑応答を取り入れ、学生の考える力、解釈の力などを鍛える。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	幹細胞, 再生医療, 疾患		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業内の質疑応答とレポート(50%) 発表(25%) 試験(25%)		
受講要件(履修条件) / Requirements	授業に出席でき、問題を積極的に考える学生		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス(李桃生) General guidance of lecture.		
第2回	幹細胞の基礎知識(李桃生) Basic knowledge on stem cell biology.		
第3回	体性幹細胞について(李桃生) About the adult stem cells.		
第4回	胚性幹細胞について(李桃生) About the embryonic stem (ES) cells.		
第5回	iPS細胞とSCNTについて(李桃生) About the induced pluripotent stem (iPS) cells and cloning technology.		
第6回	筋肉幹細胞について(小野悠介) About muscle stem cells (satellite cells)		
第7回	中間発表・討論(李桃生) Presentation and discussion.		

第8回	再生と再生医療の基礎知識（李桃生） Basic knowledge on regenerative medicine.
第9回	造血幹細胞と再生医療（1）（田口潤） Hematopoietic stem cells and clinical applications (1).
第10回	造血幹細胞と再生医療（2）（田口潤） Hematopoietic stem cells and clinical applications (2).
第11回	肝臓・膵臓の再生医療（堺裕輔） Stem cell therapy for liver and pancreatic diseases.
第12回	消化管の再生医療（堺裕輔） Stem cell therapy for digestive diseases.
第13回	心臓・血管の再生医療（李桃生） Stem cell therapy for cardiovascular diseases.
第14回	脳・神経の再生医療とその他（李桃生） Stem cell therapy for brain and neurological diseases and others.
第15回	発表・討論（李桃生） Presentation and discussion.
第16回	試験（李） Test

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670090Q2	科目番号 / Subject code	05670090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の構造(老化と死)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池松 和哉		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池松 和哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池松 和哉, 益富 美津代, 田崎 修, 前田 隆浩		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-ikema@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	医学部医学科法医学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7076		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日、午後5時から6時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヒトの死、死に至る過程、老化、医療について多面的に考えるための素材を各講師が講義する。学生は、死の多面性について考え、議論し、最終的にレポートを作成する。		
授業到達目標/Goal	ヒトの老化や死の多面性について理解する。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義、議論、レポート作成。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	老化、死		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義への出席と議論への参加、レポートによる総合評価		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月28日 インTRODクシヨ、老化と死 池松和哉(森亮一:医学部病理学)		
第2回	10月05日 老化の生物学的基盤 池松和哉(森亮一:医学部病理学)		
第3回	10月19日 寿命遺伝子 池松和哉(森亮一:医学部病理学)		
第4回	10月26日 脳の老化と疾患 池松和哉(中嶋秀樹:医学部神経内科)		
第5回	11月02日 高齢化社会と地域医療 池松和哉(前田隆浩:医学部地域医療学)		
第6回	11月09日 高齢化社会と地域医療 池松和哉(門田耕一郎:医学部地域医療学)		
第7回	11月16日 高齢者のリハビリテーション 池松和哉(小関弘展:医学部整形外科)		
第8回	11月30日 ホスピス 池松和哉(益富美津代:聖フランシスコ病院)		
第9回	12月07日 ホスピス 池松和哉(益富美津代:聖フランシスコ病院)		
第10回	12月14日 救命救急からみたヒトの生と死:救命センターには多くの重症患者が搬送され高度な治療が施されるが、一部の症例は救命できない。重症患者の背景や概要、救命に向けた社会や病院の取り組みについて紹介したい。 田崎 修:医学部救命救急センター		
第11回	12月21日 重症患者は時に「脳死」という状態に陥る。脳死患者には臓器移植という選択肢が残る。臓器移植を提供側の救急医の視点から概説する。 田崎 修:医学部救命救急センター		
第12回	1月04日 人の死とは(1)? 池松和哉(山本琢磨:医学部法医学)		
第13回	1月18日 人の死とは(2)? 池松和哉(山本琢磨:医学部法医学)		
第14回	1月25日 病死と外因死 池松和哉(梅原敬弘:医学部法医学)		

第15回	2月01日 自殺について考えてみよう 池松和哉（梅原敬弘：医学部法医学）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670090Q3	科目番号 / Subject code	05670090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の構造(性と命(いのち))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	三浦 清徳, 井上 統夫, 増崎 雅子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	三浦 清徳		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	三浦 清徳, 井上 統夫, 増崎 雅子		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部・環境科学部		
担当教員研究室/Laboratory	大学病院産婦人科医局		
担当教員TEL/Tel	095-819-7363		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9時-17時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>母親の卵子と父親の精子とが受精し,受精胚になる。受精胚は細胞分裂を繰返しながら,子宮内膜に着床することで妊娠が成立する。その後,ヒトは胎芽期から胎児期までを母親の子宮内で過ごすことになる。出生後は,新生児期,幼児期,思春期を経て,生殖年齢に達すると次の世代を生み出す。そして,大人へと成長したヒトは,更年期から老年期を過ぎのちに生命の終焉を迎える。これはヒトの生命の誕生から死に至る過程であるが,医療の現場では生殖補助技術の発達と共に様々な生殖の可能性が恩恵と共に様々な問題が生じている。例えば,体外受精により,不妊症で従来の治療では自然妊娠できないヒトも妊娠することが可能になった。また,新たな生命は生殖細胞の受精による受精胚から誕生するものであったが,クローン技術の発達により,体細胞から生命が誕生しうる時代へと突入している。一方,生殖を男性と女性という性の視点から考えてみると,性同一性障害などの問題も明らかになっている。本講義では,生殖の視点を通じて,生命の発生から死に至る過程と医療の発達に伴いヒトが受けた恩恵と様々な問題について紹介する。本講義を通じていのちの意義について理解を深めて</p>		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生命の発生から死に至る過程を理解する。 2) 生殖医療の発達に伴いヒトが受けた恩恵と様々な問題について理解する。 3) 生命(いのち)の意義について理解を深める。 		
授業方法(学習指導法)/Method	講義(60分)・小テストあるいはレポート(30分)		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	なし		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	全回小テストあるいはレポートを実施して評価する(100点)。		
学生へのメッセージ/Message for students	生命(いのち)の神秘について,産婦人科の専門医が,わかりやすい講義を行います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	いのちのおこり		
第2回	オスとしての男		
第3回	SexとGender		
第4回	性の共同作業		
第5回	メスとしての女		
第6回	性の帰結		
第7回	創られた妊娠		
第8回	輪廻とクローン		
第9回	胎児という生き物		

第10回	生まれる！
第11回	性の調節
第12回	ただひとつの生命
第13回	家族のきずな
第14回	性の終焉
第15回	いのちの行方
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670090Q4	科目番号 / Subject code	05670090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の構造(審美)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	渡邊 郁哉		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	渡邊 郁哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	渡邊 郁哉, 佐藤 敬助, 辻本 真規, 田上 直美		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生(クラス等) / Object Student	工環2年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医歯薬学総合研究科生体材料学分野		
担当教員TEL / Tel	095-819-7656		
担当教員オフィスアワー / Office hours	15:00 - 17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	美とは何か、美学について美の歴史、美の表現についての理解を深め、実際の美に関わる医療について習得する。		
授業到達目標 / Goal	医療を含め、審美について理解を深める		
授業方法(学習指導法) / Method	学生参加型授業		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	美の歴史、美の表現、審美		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	未定		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	プレゼンテーションやレポートの提出、受講時の態度等で総合的に評価します。試験はしません。		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	審美材料1(渡邊)		
第2回	審美材料2(渡邊)		
第3回	審美材料3(渡邊)		
第4回	審美材料4(渡邊)		
第5回	審美修復1(田上)		
第6回	審美修復2(田上)		
第7回	審美修復3(田上)		
第8回	ホワイトニング1(辻本)		
第9回	ホワイトニング2(辻本)		
第10回	ホワイトニング3(辻本)		
第11回	美について1(佐藤)		
第12回	美について2(佐藤)		
第13回	美について3(佐藤)		
第14回	美について4(佐藤)		
第15回	美について5(佐藤)		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670090Q5	科目番号 / Subject code	05670090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の構造(脳とことば)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川越 明日香		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	川越 明日香		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	川越 明日香, 松本 優花里		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kawagoe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部254-1号室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2773		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールでアポイントを取ってから来室してください。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ことばの発達について学ぶ ことばを制御する脳の構造を学ぶ 種々の脳の機能不全がことばの産出や理解に及ぼす影響の違いについて知る ことばの問題を克服するための手段について学ぶ		
授業到達目標 / Goal	ことばの発達について理解できる 脳とことばの関係を理解できる。 脳の機能不全によることばに関連した障害様相について理解できる。 障害と健常の垣根を越えて、授業で学んだことをよりよいコミュニケーションを目指した実生活に生かすことが出来る。		
授業方法(学習指導法) / Method	集中講義形式で行います。講義と、講義に関連した実験、グループワークとプレゼンテーション、そしてグループディベート等を随時取り入れていきます。そのため、それぞれの作業に必要な内容を事前に準備することが必須となります。事前の準備の内容については提出を求め、成績評価の対象とします。また、障害様相を把握するため、視覚教材の視聴も行います。各授業終了時には、質問や感想を書くためのコミュニケーションカードの記入を求めます。コミュニケーションカードは、次回の授業での振り返りや皆さんの授業の理解度の確認に利用します。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	ことば, 脳損傷, 認知		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は指定しません。講義内容に即した資料を事前に配布します。授業で紹介する障害の様相をより詳しく理解するため、視聴覚教材を利用します。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	予習による準備物を含む授業時のグループワークやグループディスカッションの成果物(30%)、予習復習を含むクイズ(15%)、コミュニケーションカードの提出を含む、授業への積極的な参加・貢献度(15%)、および定期試験(40%)、から総合的に判断して成績評価を行います。 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	良い聞き手になるための方法を学ぶ 子どもの発達		
第2回	ことばの発達に関するプレゼンテーションの準備		
第3回	ことばの発達に関するプレゼンテーション		
第4回	プレゼンテーションフィードバック ことばの発達に関するまとめ(DVD視聴)		
第5回	ことばの発達に関する振り返り		
第6回	脳に関するプレゼンテーションの準備		
第7回	脳に関するプレゼンテーション		
第8回	プレゼンテーションフィードバック 脳の進化と発達、脳の特性と構造のまとめ		
第9回	脳の進化と発達、脳の特性と構造の振り返り		
第10回	脳の損傷がもたらす障害についてのプレゼンテーションの準備		

第11回	脳の障害がもたらす障害についてのプレゼンテーション
第12回	プレゼンテーションフィードバック 脳の損傷がもたらす障害についてのまとめ
第13回	脳の損傷がもたらす障害についての振り返り 脳とことばに関する様々なテーマに関するディベートの準備
第14回	ディベートしよう
第15回	脳とことばのまとめ
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505670090Q6	科目番号 / Subject code	05670090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生体の構造(生体分子の構造と機能)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	郷田 秀一郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	郷田 秀一郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	郷田 秀一郎, 畠山 智充, 田中 修司		
科目分類 / Class type	人間科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	郷田秀一郎: sgoda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部1号館生体分子化学実験室2-1		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時(できるだけ前もってメールで問い合わせること)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	生命を理解するためには生物を構成する様々な生体分子の構造とそれらの間の相互作用を理解する必要がある。この講義では、生命活動の基本となる生体分子の構造と機能を理解するとともに、それらの相互作用がどのように生命活動に重要な役割を果たしているかについて学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	生体の主要成分(タンパク質, 核酸, 糖, 脂質)の特性および機能を理解し, 説明できる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義形式で行うが, 口頭による質疑応答をできる限り取り入れ, 重要な事項についての理解を深めるための補助とするとともに理解の到達度を確認する。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>生体を構成する物質には, タンパク質, 核酸, 糖, 脂質などがあり, それらの相互作用によって生命活動が成り立っている。なかでもタンパク質と核酸(DNA・RNA)は生命活動の最も中心的な役割を担っていることから, タンパク質と核酸を中心として生体分子の構造と機能について講義を行う。</p> <p>第1回 生命科学の基礎 第2回 生体を構成している物質(アミノ酸とタンパク質) 第3回 生体を構成している物質(糖質・脂質) 第4回 生体を構成している物質(核酸) 第5回 タンパク質の構造と機能(タンパク質の構造) 第6回 タンパク質の構造と機能(タンパク質の機能) 第7回 細胞内のエネルギー代謝 第8回 遺伝情報の流れ(DNAの複製) 第9回 遺伝情報の流れ(転写と翻訳) 第10回 細胞の増殖(細胞周期) 第11回 細胞の増殖(発生・分化) 第12回 細胞の様々な機能(細胞情報伝達) 第13回 細胞の様々な機能(生体防御と免疫) 第14回 生物の進化と多様性 第15回 全授業の総括(試験を含む)</p>		
キーワード / Key word	タンパク質, 遺伝子, バイオテクノロジー		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「はじめて学ぶ 生命科学の基礎」 畠山智充・小田達也(編著) 化学同人		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験(80%), レポートおよび授業における積極的取り組み状況(20%)を考慮して成績評価を行う。		